

〈4〉第5学年実践記録

1 単元名・教材名 「When is your birthday?～新本オリジナルカレンダーを作ろう～」
『We can!1』Unit2 「When is your birthday?」 行事・誕生日

2 単元の目標

- 学校行事の日付や誕生日，欲しいものについて聞いたり言ったりすることができる。また，月や行事を活字体で書くことができる。 (知識・技能)
- 誕生日や行事の日付を尋ねたり，その答えに対して自分で考えて反応を伝えたりする。 (思考力・判断力・表現力)
- 他者に配慮しながら，行事の日付や誕生日，欲しいものを尋ねたり，それに答えたりして伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事，日付，誕生日について聞いたり言ったりしている。 ・ 月や行事を活字体で書き写している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誕生日や欲しいもの，行事の日付を尋ねて答えている。 ・ 相手の答えを聞き，その答えに対して自分で考えて反応を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者に配慮しながら，行事の日付や誕生日，欲しいものを尋ねたり，それに答えたりして伝え合おうとしている。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと [やり取り]	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができるようにする。
書くこと	ア 大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

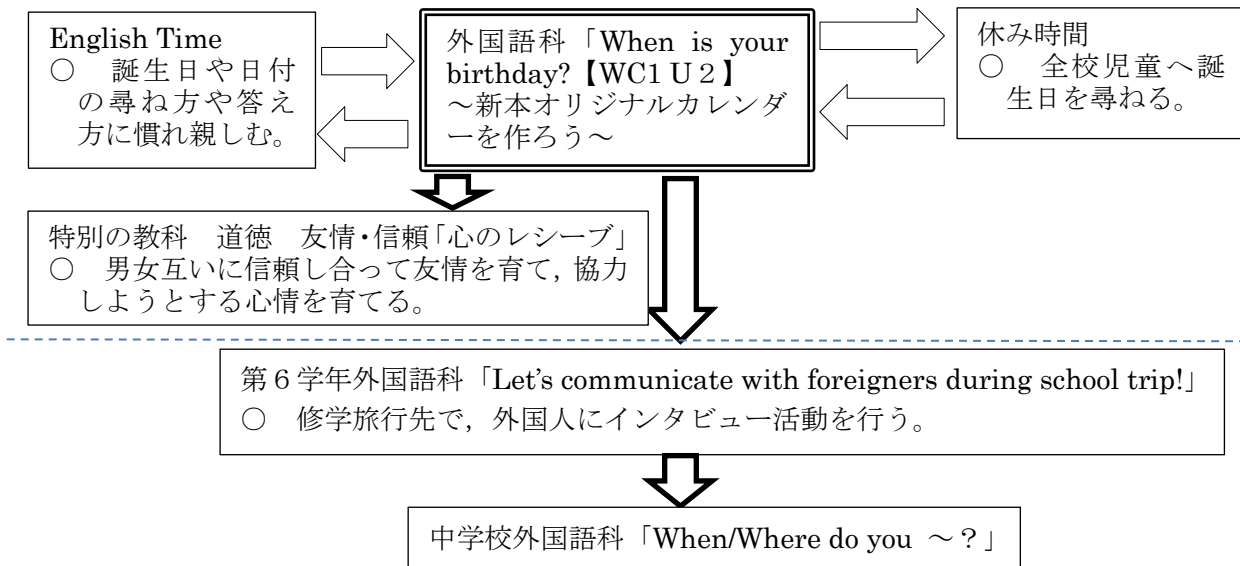
5 単元観

本単元は，月の言い方や日にちの言い方を知り，それらを使って，誕生日について伝え合ったり，様々な行事の日程についても英語でやり取りができたりすることをねらいとしている。誕生日を伝え合う活動はこれまでも経験しているため，児童は慣れ親しんできた表現を使って自信をもって活動に取り組めるだろう。そこで，ステップアップを目指すため，相手の誕生日や行事の日付を聞いて，その答えに合わせた反応を自分で考えて表現しようとする活動を取り入れることで，外国語科における思考力・表現力を高めたいと考える。学校行事の言い方と日付の尋ね方については，初めての表現となるので，スモールステップで丁寧に身に付けさせたい。

また，単元のゴールを，「新本オリジナルカレンダー作り」に設定することで，英語でのやり取りや音声で十分に慣れ親しんだ語句を読んだり書いたりする活動に必然性をもたせ，意欲を高める。その際，2人組での活動を基本としてインタビューやカレンダー作りに取り組みさせることで，英語の力や読んだり書いたりする力などを補い合い，友達と協力し合うよさを感じながら単元を進めていけるようにする。

本校の規模と学習環境だからこそできる，全校児童への誕生日インタビューや，小学校のみならず幼稚園，中学校，フィリピンの学校行事についてのインタビュー活動を行う。児童がそれぞれ分担してインタビューを行い，情報交換し合う活動を仕組むことで，他者に配慮しながら進んでインタビューを行い，聞き取った情報をもとに，友達と協力しながら生き生きとカレンダー作りに取り組む姿を期待する。

6 関連構想図



7 本時案

(1) 本時のねらい

幼稚園，小学校，中学校，フィリピンの学校行事がいつ行われるのかを尋ね，その答えに合わせて自分で考えた反応を返す。

(2) 展開（第5時）

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ▲ALT, ■小中連携担当教員)	学習評価
1 Greetings	●▲ 英語であいさつをした後，気分や天気，曜日，日付について尋ねることで，日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。	
2 Warm up 「Japanese culture」 ・こいのぼり ・おぞうに	● お題となっている行事についてペアに伝えようとする活動を通して，知っている語句を用いて使おうとする力を高められるようにする。 ▲■ 話すことに苦手意識を持つ二人の児童の近くで見守り，言いたい表現の手助けをする。 ● 言いたかったけど言えなかった，または伝わった言葉や表現を全体で出し合い，新しい表現を共有する。	
3 Review	▲ ALT の正しい発音を聞いて繰り返すことで，学校行事の言い方を確かめることができるようにする。	
4 Aim	Aim 相手が気持ちよく答えられるインタビューをして，カレンダーを完成させよう。	
5 Demonstration	● 相手が気持ちよく答えられるインタビューの仕方について話し合うことで，相手の答えに合わせた反応を返すことがポイントであることに気付くことができるようにする。 ■ ある学校の先生になりきり，児童の質問に答える活動を行うことで，どんな反応ができるかを確認したり，新しい表現を確かめたりすることができるようにする。	

A : May I ask you some questions? ■ : Sure.
 A : When is School entrance ceremony? ■ : It's April 10.
 A : April 10. I'm excited. ■ : Where do you want to go?
 A : I want to go ~.

<p>6 Activity</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2～3人組で、4つのグループを作り、それぞれが4人の先生方へインタビューをすることで、分からないことを教え合いながら活動できるようにする。 ● 小学校の行事は教務主任、幼稚園の行事は園長先生、中学校の行事は■小中連携担当教員、フィリピンの行事は▲ALTにインタビューをすることで、どのペアも責任をもってインタビューを行えるようにする。 ● インタビューを受ける先生方には、日付だけでなく、何か一言添えて答えていただくことで、児童が反応しやすくなるようにする。 ● インタビューが早く終わったペアには、みんなに情報を伝えるための練習をして待つように指示する。 ● インタビューを受けた先生方から、どんな質問や反応で気持ちよく答えられたかを紹介していただき、めあての到達度を確認められるようにする。 ● インタビューで聞き取った、学校行事の日付を、小学校→幼稚園→中学校→フィリピンの順番で発表することで、小学校の行事の日付を基準にした相違に気づき、反応することができるようにする。 ▲ 誤った発音があれば、ALTが正しい発音をして児童の気付きを促す。 ■ 話しにくそうにしている児童に寄り添い、発音の手助けをする。 ● 行事名を、4線の入ったシールに書き写し、該当するカレンダー一月にはる活動を行うことで、読むことや書くことにも慣れ親しむとともにカレンダーが完成する達成感を味わうことができるようにする。 	<p>◇学校行事がいつ行われるのかを尋ね、その答えに合わせて自分で考えた反応を返す。 【思考力・判断力・表現力】 (発言)</p>
<p>7 Comment time</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の観点で振り返りを行うことで、自分や友達の変容やよさに気付くことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んでインタビュー活動に取り組みましたか。 ・ 相手の答えに合わせた反応を返しましたか。 ・ 今日の学習の感想を書きましょう。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日付を伝えるときは、13と30がまちがえやすいので、気を付けて発音したいと思った。 ・ インタビューをするときは、相手の答えを受けて反応を返すと、楽しくインタビューができることが分かった。 ・ ○○さんが、たくさんリアクションをしたり、はっきりした声で話したりしていてすごいと思った。 </div>
<p>8 Greetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●▲■ 児童の活動の様子でよかったところを称揚することで、次時への意欲につなげることができるようにする。 ● 出来上がったカレンダーを見合い、達成感を感じられるようにする。 	

8 板書計画

Goal	新本オリジナルカレンダーを作ろう。			Aim	相手がきもちよく答えられるようなインタビューをしよう。
Greetings	行事絵カード	行事絵カード	行事絵カード	正しく	+ リアクション
Warm up				協力	気持ちをこめて
Review				聞き返す	くり返す
Aim				Pardon?	Oh good!
Presentation	行事絵カード	行事絵カード	行事絵カード		Wow!
Practice					Me too.
Activity					Really?
Comment time	行事絵カード	行事絵カード	行事絵カード		
Greetings					
	When is	<input type="text"/>	?		

9 研究の視点から実践を振り返って

言語活動の工夫

・ Small Talk について

本単元では、誕生日や学校行事を尋ねたり答えたりする活動が中心となった。そこで、Small Talk として毎時間、「元旦」「花見」「大みそか」などの日本の行事をお題にした、「Japanese culture」を取り入れた。児童は、本単元で習得した月や日付、既習表現である色や形などの語彙を使って、一生懸命相手に伝えようとする事ができた。

Small Talk (Japanese culture) でのやり取り

○お題は「こいのぼり」

(ペアで) A : May 5th.

B : こどもの日 !

A : Close! Frying fish!

B : ?

A : Red fish! Blue fish!

B : こいのぼり !

A : That's right!

(全体で) T : 言いたかった言葉ある ?

C : 鯉は ?

T : How do you say 鯉 in English?

ALT : Carp

児童全 : Carp

Small Talk をする児童



園長先生に幼稚園の行事をインタビューする児童



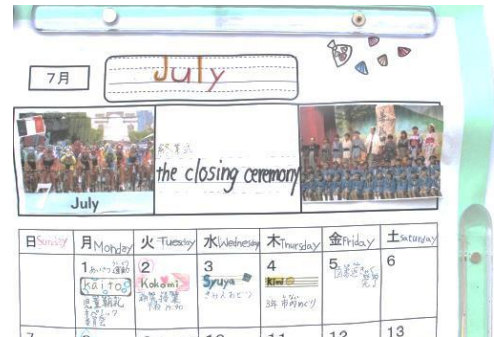
- 書く活動について

本単元は、カレンダー作りを単元ゴールの言語活動に設定したため、書くことの必然性が生まれた。児童は、インタビューをした全校児童の名前をローマ字で書き、好きな色や形で飾り、カレンダーに貼り付けていった。また、幼稚園・小学校・中学校・フィリピンの学校行事を書き込むため、学校行事を書き写す活動も意欲的に行うことができた。

カレンダーに行事名を書き写したシールを貼る児童



カレンダーの一部



広い世界に目を向けるための人との関わりの工夫

- HRT, ALT, 小中連携担当教員の役割について

児童にとって月と序数の発音の習得は難しいものが多かったが、毎時間 ALT の本物の発音に触れる時間を設けることで、正しくインプットすることができた。小中連携担当教員と児童は、1学期からの関わりを通して「分からない、教えて。」と言える関係を築いてきた。児童が「英語で何て言えばいいんだろう。」と思考する場面では、小中連携担当教員と話し合いながら、自分が言いたいことに合う英語表現を見つけていく姿が見られた。また、ALT や小中連携担当教員がいろいろな人物になりきって児童からインタビューを受ける活動を取り入れることで、やり取りを楽しみながら正しい発音や新しい表現を習得することができた。HRTは、それぞれの役割が効果的に果たせるよう、主となって授業を進めた。

- 他校種、他国へ目を向ける活動について

本時では、ペアに分かれて、園長先生に幼稚園の行事、小中連携担当教員に中学校の行事、ALT にフィリピンの行事、教務主任に小学校の行事についてインタビュー活動を行った。その後、互いに聞き取った日付を報告し合うことで、入学式や卒業式に日付の違いに気付いたり、国や校種ならではの行事に興味を広げたりすることができた。

10 反省と考察

小規模校の強みを生かし、全児童全職員に誕生日や好きな物を聞く活動を取り入れることで、獲得させたい英語の表現に十分慣れ親しむことができ、相手に合わせた質問や反応を加えることができる児童もいた。また、聞いたことを報告し合う活動も設定することで、正確に聞き取ろうとする態度や新たな表現を取り入れてもっと自分の思いを伝えようとする態度を育てることができた。しかし、本時で報告し合う場面では、大勢の人の前で日付を聞き返すことができにくかったせいか、正しい日付を理解することができず、反応が少なくなってしまう。自分の考えをもち伝えるためには、まず相手が言っていることを理解することの重要性を実感した。掲示してあるカレンダーを使って、日付を確認しながら発表するなど、正しい理解につなげる支援が必要だった。

「カレンダー作り」を単元のゴールに設定したことで書く必然性が生まれた。書くことに関しては、慣れ親しんだ言葉であったこと、カレンダーに貼っていく楽しさがあったことから、抵抗なく取り組めた。しかし誤字に対して、やり直しを求めることでやる気がなくなる児童もいた。自分で間違いに気付くことのできるような支援を行い、意欲をもたせながら正しく文字指導をするように心がけたい。

単元のゴールに向かって、もっと夢中になって活動する姿を期待していたがそこまではいかなかった。

カレンダーを印刷して全児童に配る、来年度のリーダーとして校長先生からカレンダー作りを依頼されるなど、活動への必然性をより高め、活性化させるための工夫がもう一段階必要だったと感じた。

5	年生	11	単元名	WG1(U2)When is your birthday? ～新本オリジナルカレンダーを作る～	5	時間単元
<p>単元目標 【知】学校行事の日付や誕生日、欲しいものについて聞いたり言ったりすることができる。また、月や行事を生活で書くことができる。 【思】誕生日や行事の日付を尋ねたり、その答えに対して自分で考えて反応を伝えたりする。 【主】他者に配慮しながら、行事の日付や誕生日、欲しいものを尋ねたり、それに答えたりして伝え合おうとする。</p>						
<p>つながる学び ・English Time ・休み時間 ・特別の教科 道徳「心のレシーブ」</p>						
<p>◎ 評価 ①達成者 △未到達者の人数と氏名を記入)</p>						
人	人	人	人	人	人	人
ねらい	① 来年のカレンダーに何を書き込んでいきたいかを話し合い、オリジナルカレンダー作りへの見通しを持つ。	② 席数の言い方を知り、自分の誕生日を表現する。	③ 友達の日付や欲しいものを尋ねたり、答えたりする。	④ 他者に配慮しながら、全校児童に誕生日や欲しいものを尋ねて反応する。	⑤ 他者に配慮しながら、学校行事の日付を尋ねたり、反応したりして伝え合おうとする。	必要言語 When, birthday, month (January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December) 季節 (spring, summer, fall, winter), 序数 (1st ~31st) 日本の行事 (New Year's Day/Eve, Children's Day, Doll's festival), 学校行事 (School entrance ceremony, Sports day, Gamin festival, Graduation Ceremony, school trip)
帯活動	・Greetings ■ Japanese Culture ・元旦, 花見	・Greetings ■ Japanese Culture ・クリスマス, ひな祭り	・Greetings ■ Japanese Culture ・おみこし, 節分	・Greetings ■ Japanese Culture ・おみこし, 節分	・Greetings ■ Japanese Culture ・子どもの日, 大みそか	・Greetings ■ Japanese Culture ・子どもの日, 大みそか
導入	・日付だけの来年のカレンダーを提示する。	・席数の言い方を知っている。 ・自分の誕生日を確認して言う。 ●自分の誕生日を紹介 When is your birthday? My birthday is ~. ▲誕生日を聞いてどう答えたらよいかを話し合う。 ●なりきり Interview Game My birthday is ~. It's winter. Me, too. Here you are. Thank you.	・欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知っている。 ■ Interview Game When is your birthday? My birthday is ~. It's winter. Me, too. What do you want for your birthday? I want ~. Nice. ●分かったことをみんなに伝え、自分のカレンダーに書き込む。 Yuma's birthday is ~. He want ~ ・振り返り	●全校児童の誕生日と欲しいものをみんなに伝え、自分たちのカレンダーに書き込む。 Riko's birthday is ~. She want ~. ・カレンダーに書き込んだ学校行事の言い方を知る。 ●日付の尋ね方を知る。 When is ~? I see. ~ is ~. ●インタビューしたことをみんなに伝え、カレンダーを完成させる。 ・カレンダーを紹介する。 ・振り返り	●学校行事の日付の尋ね方と反応の仕方を練習する。 ■ Let's Interview 小学校行事→渡辺先生 幼稚園行事→園長先生 中学校行事→杉本先生 フィリピン行事→デヴィー先生 When is ~? (It's ~) I see. ~ is ~. ●インタビューしたことをみんなに伝え、カレンダーを完成させる。 ・カレンダーを紹介する。 ・振り返り	・学校行事の日付の尋ね方と反応の仕方を練習する。 ■ Let's Interview 小学校行事→渡辺先生 幼稚園行事→園長先生 中学校行事→杉本先生 フィリピン行事→デヴィー先生 When is ~? (It's ~) I see. ~ is ~. ●インタビューしたことをみんなに伝え、カレンダーを完成させる。 ・カレンダーを紹介する。 ・振り返り
中心活動 Activity	●ALTの国の行事を知っている。 ■月集めをして、自分のカレンダーの一部分を作る。 What do you want? January card please. Here you are. Thank you.	●なりきり Interview Game My birthday is ~. It's winter. Me, too. Here you are. Thank you.	●分かったことをみんなに伝え、自分のカレンダーに書き込む。 Yuma's birthday is ~. He want ~ ・振り返り	●全校児童の誕生日と欲しいものをみんなに伝え、自分たちのカレンダーに書き込む。 Riko's birthday is ~. She want ~. ・カレンダーに書き込んだ学校行事の言い方を知る。 ●日付の尋ね方を知る。 When is ~? I see. ~ is ~. ●インタビューしたことをみんなに伝え、カレンダーを完成させる。 ・カレンダーを紹介する。 ・振り返り	●学校行事の日付の尋ね方と反応の仕方を練習する。 ■ Let's Interview 小学校行事→渡辺先生 幼稚園行事→園長先生 中学校行事→杉本先生 フィリピン行事→デヴィー先生 When is ~? (It's ~) I see. ~ is ~. ●インタビューしたことをみんなに伝え、カレンダーを完成させる。 ・カレンダーを紹介する。 ・振り返り	●学校行事の日付の尋ね方と反応の仕方を練習する。 ■ Let's Interview 小学校行事→渡辺先生 幼稚園行事→園長先生 中学校行事→杉本先生 フィリピン行事→デヴィー先生 When is ~? (It's ~) I see. ~ is ~. ●インタビューしたことをみんなに伝え、カレンダーを完成させる。 ・カレンダーを紹介する。 ・振り返り
評価場面	季節・月の言い方(知) 月集め(主)	席数の言い方(知) 話し合い・なりきりインタビュー(趣)	インタビューゲーム(知) みんなに伝える。(主)	インタビュー(主)	インタビュー(趣)	インタビュー(趣)
<p>●「自分の思いを伝える」「相手の思いを聞く」活動 ▲「思考する」活動 ■英語表現を「活用する」活動</p>						